

2021 山岳スポーツ振興事業プロジェクト・・事業報告

● 「2021MHC 登山講習」と報告写真展 (2021年5月～2022年3月)

・事業目的

現在、北アルプス等を初めとする日本の山々では、中高年登山ブームから、若人の関心を集める幅広い年齢層による市民登山の時代が到来しています。

この市民登山の時代を迎え、山の装備の選び方から山の登り方、行動食や水分の摂り方、高山病対策やレスキューの方法、そして山に咲く高山植物や、山岳撮影のテクニック等を優れたインストラクターより学び、「安全でより楽しい登山」とする学習の場が求められています。

NPO 法人松本ヒマラヤ友好会(MHC)では、市民参加の山岳スポーツ振興事業として、山岳遭難を未然に防ぐことも願い、「安全でより楽しい市民登山」とするために、**ヒマラヤ等高所登山経験豊富な講師の指導**により、系統的に登山技術を習得し、山岳の知識と登山の楽しさを学べる市民参加による「2021MHC 登山講習」を開講。

しかし、講習をリードする鈴木理事長の体調不良、また、スタッフ不足により、事業内容は縮小状況であり、皆様にご迷惑と期待外れさせ、申し訳なく思っています。またコロナ禍、宿泊施設のサービス低下もあり、思うように進めませんでした。

・事業内容・実施方法

○2021MHC 登山講習

1、登山説明会の実施・・登山の注意と心得について、MHC 登山講習中に指導。

山の装備の選び方から山の登り方、行動食や水分の摂り方、高山病等、初歩的な医学、初歩的な栄養学知識を習得してもらう。⇒安全登山に役立つように

2、6/11(土)～6/12(日)登山講習ハイキング編「初夏の上高地と乗鞍高原」同時に山岳写真撮影会実施。



6月上高地写真撮影会



レンゲツツジと残雪乗鞍岳



善五郎の滝



梓川右岸木道に行く

10/下旬 登山講習ハイキング編「紅葉の上高地散策」同時に山岳写真撮影会・・中止。

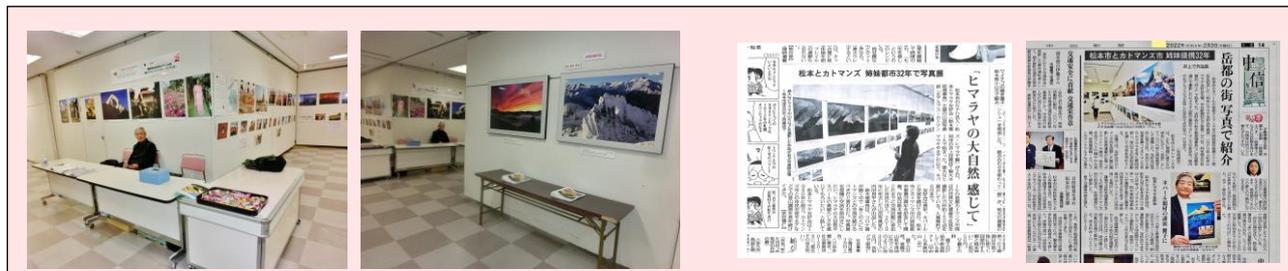


(写真は2020年秋)梓川左岸の白樺並木 秋の上高地と新雪頂く焼岳 左岸土手沿いの落葉松林 赤い屋根の帝国ホテル

登山講習が、実施されれば、受講者は優れた登山技術を習得することで、あらためて**安全登山についての認識**を深めて頂き、山岳に対する豊富な知識と経験を積んだ**愛好家として**、また登山パーティーのリーダーとしても養成されていく事でしょう。

この企画を実施する事で、長野県の美しい山岳があらためて認識され、幅広い年齢層による市民登山が「安全でより楽しい登山」となる事を心より念願しております。

これらの事業は、2022年2月2日(水)～6日(日)に、松本駅前井上デパート本店7階大ホールにて、「松本ヒマラヤ友好会山岳写真展」北アルプス、カトマンズ・ヒマラヤ編として開催。MHCの鈴木理事長が監修し、審査員として厳選し、事業報告写真92点、寄せられた友情作品64点が展示され、期間中1000人を超える来場者を迎え、大盛況を博しました。



展示場受付入口

展示会場

毎日新聞記事

中日新聞

ご来場された市民の皆様には姉妹都市カトマンズやネパールヒマラヤの大自然や北ア登山への関心を深めてもらうことが出来たことでしょう。

○講師・スタッフ



登攀指導と写真指導 鈴木雅則・・登山講習の責任者、鈴木雅則は、1990年に松本ヒマラヤ友好会(MHC)を創立以来32年、その理事長としてヒマラヤでの高所登山経験を活かし、山岳スポーツ振興事業として、「安全で楽しい登山」となることを目的に、北アルプスをはじめ中部山岳地域において、MHC登山講習を2020年度まで、松本市共催(山岳観光課)事業として、実施。市民参加者は、延べ約7000名にのぼり、ほとんどの参加者は、登頂を果たし、目的を達成。参加者は、初歩的な医学、栄養学の知識を得て、登山経験を積み、安全登山に役立ったことでしょう。

主な作品：「ヒマラヤの青い空とカトマンズ」市民交流30年の歩みⅠ～Ⅳ巻 「上高地の美しい自然と槍・穂高連峰縦走」写真集Ⅰ巻、その続編として「上高地編Ⅰ巻、槍・穂高岳編Ⅰ巻」各写真集。姉妹都市カトマンズと山岳交流Ⅰ巻、松本ヒマラヤ友好会山岳写真展報告書Ⅰ巻の計9巻の全ての作品は、県立・長野図書館に所蔵され、各一部は永年保存され各一部は図書館で、いつでも閲覧することが出来ます。

2021年度役職：MHC理事長 松本市海外都市交流委員会副会長、カトマンズ部会長

③**MHC山岳委員**・・MHCヒマラヤ高所4000m～6500m登頂経験者、又は登山熟達者
上条賢介、内山康翁、甕俊昭、種田敏子、今村康子 斉藤正仁 寺島弘高
折野和富 荒井初彦

※親睦登山及び登山研修の時には、積極的なアドバイス、サポートをお願いいたしました。

事業の効果 MHC登山講習参加者は、山の装備、山の登り方やレスキューの方法などの**登山技術**、山岳撮影技術や高山植物などの**知識**、行動食や水分、高山病対策などの初歩的な**医学栄養学**の初歩的知識も得て、安全登山についての認識を深めたこと、思われる。